

ドンダリの育て方



詳しい育て方はこちらから →

1.



秋の間にどんぐりを集めます。緑から茶色に変わろうとしている物が、すでに茶色になっており、表面が滑らかで大きなどんぐりが育成に適しています。ひび割れしていたり、しわになっていたり、カビが生えていたり、穴が開いていたりするどんぐりは避けてください。

ぬるま湯を入れたボールにどんぐりを入れ、48時間浸します。その際、水面に浮いてきたどんぐりは成熟致しませんので、ご使用頂かないようにしてください。48時間後、どんぐりを水から取り出します。その後、キッチンペーパーを軽く濡らしどんぐりを包んでください。

※水に沈んだどんぐりは、種の発芽に成功する可能性が高いです。健康などんぐりをいくつかボールに入れ、お選びください。

※小さいどんぐりの場合、花瓶の差し口から花瓶の内部に落ちてしまう場合がございます。大きいどんぐりを選んでください。

2.

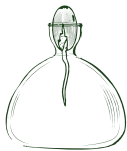


種を包んだペーパータオルを再利用可能なジッパー付ポリ袋に入れて密封してください。ポリ袋を冷蔵庫で保管してください。発芽には1-8週間かかる場合があるため、しばらく待ちます。数日ごとにジッパー付ポリ袋を確認し、どんぐりの発芽の進行状況をご確認ください。

キッチンペーパーは湿ったままに保つことが重要ですが、カビを防ぐために、過度に湿らせないようにしてください。キッチンペーパーが常に湿っていることを確認するため、3-5日ごとに種子をチェックするようにしてください。

冷蔵庫に入れてから8週間経っても発芽しない場合は、ジッパー付ポリ袋を取り出して室温で保管してください。周囲が暖かくなると、どんぐりが目覚め、成長し始めます。

3.



どんぐりの先に主根が現れ、主根が1.5cm以上に成長したら、花瓶に移してください。どんぐりの上部は乾燥した状態にしておく一方、主根は水に浸るようにしてください。

根が乾燥しないよう水位の変化を確認しながら、花瓶の水を毎週または2週間に1回補充してください。根の成長よりも速く水が蒸発する可能性があるため、初期段階では特にご注意ください。